



村田 耕一
(公明)



中学校合同ゆる部活動の創設ができないか

Q 不登校生徒の教育機会として、学校部活と違い気軽に参加できるダンスやヨガ体操、トレーニングなどの合同ゆる部活動を創設できないか。

A 市民を対象とした各種スポーツ教室の対象年齢を中学生まで広げ、さまざまな世代とかわりながら、楽しんで運動に取り組むことにつながりたいと考える。中学生に限定したスポーツ教室については、実現の可能性をスポーツ推進課とともに研究していく。

带状疱疹予防ワクチン接種費用助成を要望

Q 国の定期接種化に向け、予防接種推進専門協議会より厚労省に要望書も出された。経費も対応できると考えるが費用助成できないか。

A 自己負担額の面から身近なワクチンではなく健康格差が生じることが懸念されるため、助成には慎重にならざるを得ない。定期接種となれば健康被害への対応や副反応に関する医療・相談体制も充実するため、国による早期の定期接種化を、全国市長会を通じて国に働きかけていく。



他の質問事項

国県補助金利用でトイレレトラの導入を



中村 仁
(緑水会)



三島市の現状や社会経済情勢を踏まえた新庁舎整備事業

Q 築60年超の現市役所は老朽化著しく改修費用が止めどない。新庁舎建設は必要だが時代に合う工夫が不可欠。現在の状況は。

A 多くの市民から、分散する庁舎機能は統合すべきとの意見を受け、統合することを軸に、利便性や事務効率の向上、災害時の拠点機能充実を図りながら、できるだけコンパクト化を目指し、コスト低減のために民間活力を活用した建設手法の採用も検討している。

Q ウクライナ情勢や円安等で建設資材・コスト上昇は激しい。さらに上振れが続くなら一旦立ち止まり時期を見極める可能性はあるか。

A 想定工事費は、現状の社会経済情勢による物価上昇を捉えているが、今後、さらに厳しくなることも想定し、市場の動向を注視していく。先の見通しは、各段階で説明していくが、現庁舎の老朽化が著しいため、費用面を工夫しながら新庁舎の整備を推進していく。



他の質問事項

先進地に倣い、建設費を抑える検討は可能か



岡田 美喜子
(新未来21)



白滝公園のトイレをバリアフリートイレに

Q 公共トイレが白滝公園と浅間神社の間に位置し、貴重な三島溶岩の上にある。場所の変更や大型ベッド付きトイレに改修できないか。

A 平成8年度に鉄筋コンクリート造りとして建て替えし、参考耐用年数は55年であるが、今後、健全度調査を実施した際の緊急度判定により改修が必要となった場合には、トイレの場所の変更や大型ベッドの設置も含め検討していく。



かわせみトンネルの防犯対策

Q トンネル内の通報装置は緊急時に押すと消防署と市役所に通報され警察に繋がらない。その対策として防犯カメラ設置の可能性を伺う。

A 最近、トンネル付近では犯罪等が発生しており、防犯カメラの設置の必要性は低いと思われるが、地域住民の不安解消と犯罪防止のため、防犯パトロール実施中などの注意喚起の看板設置や、警察のパトロールのさらなる強化について、協力をお願いしていく。



古長谷 稔
(無会派)



三島市沢地の違法盛り土の危険性

Q 沢地にある熱海伊豆山流出土の約2.3倍にあたる約12万2千m³の違法な盛り土が崩壊し、土砂となって沢地川に到達した場合の危険性は。

A 仮に盛り土が崩壊した場合には、河川流域に影響を与える可能性は認識している。災害を未然に防ぐため、違反者へ市条例に基づく是正を指導し、一部施工された。現在、県で盛り土の安定度評価を行っており、市も結果を共有し、今後の対策を県とともに検討していく。

再開発実施設計の地下水影響対策

Q 組合による地質や地下水影響の調査成果物を、組合理事から外れた三島市は、市民や専門家に公開させることはできないのか。

A 市は必要に応じて組合から資料提供を受け、検討資料等に活用している。地盤調査の記録等は専門性が高く資料も膨大となるため、単に公開するのではなく、ポイントを整理した、わかりやすい資料を作成しお示しすることが、説明責任を果たす上で重要と考える。



石井 真人
(改革みしま)



三島市のDX推進による新庁舎建設の考え方

Q 三島市のDX推進によって新たな市役所を実現するために、現時点で考えている新庁舎建設における市民窓口サービスの在り方は。

A ワンストップ化やDXの推進で、将来的には、よりコンパクトな窓口ができると考えている。新庁舎の供用開始以降においてもフレキシブルに対応できるように、設計段階から考慮する必要があるため、基本構想や基本計画において、先を見据えた方向性を考えていく。



要支援者への先進的な取り組みの横展開

Q 避難行動要支援者に対し、芙蓉台自治会で行われている支援者会などの先進的な取り組みを横展開することについて、考えを伺う。

A 災害発生時に実行性のある仕組みを平時から構築し訓練していただくために、支援者会を組織している芙蓉台自治会や複数人で避難支援を行う仕組みを構築した多呂自治会などの好事例について、避難行動要支援者名簿等の配布時やホームページを通じて周知していきたい。

他の質問事項

インクルージョン・マネジャーの採用と育成



堀江 和雄
(公明)



選ばれる街・稼げるまちづくりのためにII

Q 静岡県の第4次ファルマバレープロジェクトの医療田園都市に連携する医療・健康の中心機能などへの三島市の投資はどう考えるか。

A 三島駅南口の再開発事業では地域のウェルネスフロントとなる医療・健康機能の導入を検討しているほか、医療田園都市の一角を担うべく医療・健康関連企業の積極的な誘致や人材の集積により、地域住民のウェルビーイングの向上と持続的な発展に繋げていきたい。

まちなかりノベーション計画の取り組み

Q 2030年のまちなかりノベーション推進計画のエリア、車中心から人も歩きたくなる街中はこのように歩行者の優先が実現されるのか。

A 令和3年度に策定した三島市まちなかりノベーション推進計画に設定する15の戦略の具現化に向け、令和4年度は、まちなかりノベーション研究会を立ち上げ、スモールスタートの実践・検証等、新たな事業展開へつながるよう協議している。



* DXとは…AIやIoTなどの先端技術やデジタルデータなどを積極的に活用し、社会や生活を革新すること。